

令和5年度左京区まちづくり活動支援交付金交付事業 実施内容について

資料 1 - 2

申請団体数:34団体 交付団体数:27団体

No.	事業名（団体名）	概 要	実 績
1	親子で楽しむ食育ワークショップ「HappyHalloween～おはぎ作り～」 (YONkitchen)	コロナの影響で子どもの交流の場が少ない中、洛北阪急スクエアで、親子向けの「おはぎ作り」の体験型食育ワークショップを開催し、食育の場を提供する。	日時：10月28日、29日（各日2回計4回） 場所：洛北阪急スクエアコミュニケーションルーム 内容：おはぎづくり（計36組の親子が参加）
2	パトランによる安心安全の街づくり (チームKUSABI)	市原野小学校の下校時間に合わせて、地域住民による「ながら見守り」活動として、パトラン（パトロール×ランニング）を中心とした活動を府警と連携して定期的に実施することで、地域の安心・安全を守り、「ながら見守り」の活動を広めていく。	5月から3月にかけて計12回パトロールを実施。（計139人参加）
3	『京都』ではなく、『左京区』の認知度を獲得するCM事業 (合同会社SHUJU)	左京区をカルチャー発信の地としてブランディングし、魅力ある左京区内各所を撮影した短尺のPR動画を、Youtubeや各種SNSに広告配信し、若者の「左京区の認知度」を上げ、左京区への若者の移住者や観光客の増加を目指す。	・8月21日、22日 区内在住の事業者を訪問、撮影 6人 ・9月1日～10月1日 動画編集 SNS業者による放映許可 ・3月1日～3月31日 動画配信 動画再生回数3.4万回獲得（期間限定公開）
4	安楽寺で書初めとお抹茶体験を楽しもう (川端少年補導委員会錦林東山支部)	子ども対象の書初め会とお抹茶体験を安楽寺で行い、地域交流及び地域の文化財、伝統文化の継承を目指す。	日時：1月7日 10時30分～14時 場所：安楽寺（22名参加）
5	農園活動を通して地域の繋がりを深める (いわくら農園倶楽部)	高齢者をはじめ幅広い人々が農作業や販売活動を行うことで、交流や達成感を得られる場をつくり、子育て世代の参加や地域外からの参加により、多世代交流や地域間交流を深める。	・7月1日 カレーの日（前期収穫祭）岩倉包括支援センター（20名参加） ・9月29日 芋掘り体験 農園倶楽部畑（20名参加） ・11月4日 明德ふれあい祭りでの野菜販売 明德小学校（300名参加） ・2月 SKYフェスタでの野菜販売 みやこめっせ（100名参加） ・3月 土起こし、種まき 農園倶楽部畑 約10名参加 ・毎週土曜日 土作り、苗植え、種植え、水やり、草引き等 農園倶楽部畑（7～20名参加） ・野菜収穫時 野菜販売 認知カフェ、紫雲苑 ・その他 収穫物の仕分け、梱包作業 岩倉包括支援センター（5名参加）
6	木野かわらけ親子教室 (木野かわらけ保存会)	古くから祭祀の供え物の器として岩倉木野で制作されている「木野かわらけ」の歴史と伝統的工芸技法を地域の人々や親子が学ぶことができる「親子教室」を開設し、伝統的な「木野かわらけ」の制作技術を保存・伝承する。	・6月18日 かわらけの研修（45名参加） ・7月9日 土づくり体験（50名参加） ・8月27日 かわらけ作り（44名参加） ・9月10日 かわらけ作り（55名参加） ・10月9日 研修と乾燥状況調査（47名参加） ・11月18日 窯入れ・火入れ（44名参加） ・11月19日 窯出し（44名参加） ・12月3日 体験発表会（45名参加） 場所：愛宕神社、公民館
7	かもがわデルタフェスティバル2023 (かもがわデルタフェスティバル実行委員会)	「多文化共生」をテーマに、地域の音楽家によるコンサートや外国人親子などが参加する手作り教室など、多彩な文化イベントを開催し、若い力を生かした地域づくりにつなげていく。	日時：9月10日～16日 場所：養正児童公園希望の広場（延べ約850名（うち外国籍市民50名）参加）
8	下鴨小学校創立150周年記念事業 (下鴨風土記研究会)	下鴨小学校150周年事業の一環として、京都府立京都学・歴史館で、「下鴨風土記研究会発表会」、「下鴨小学校所蔵美術品展」、「下鴨歴史90分ガイド」などの事業を開催し、下鴨の郷土史を多くの人に伝えていく。	・10月1日～29日 計10回「下鴨歴史90分ガイド」下鴨学区内（82名参加） ・10月21日 「第13回下鴨風土記研究発表会」歴史館大ホール（135名参加） ・11月11日～12月10日 「下鴨小学校所蔵美術品展」歴史館展示室（延べ1,150名）
9	地域でつなげる世界の輪留学生が見つける左京の魅力 (KONOEN)	留学生在が区内を調査取材、住民との意見交換を行い、フリーペーパーを作成するとともに、SNSでの発信を行うことで地域との交流を行いながら、左京区の魅力の世界に伝えていく。	・8月5日 着物着付教室 みずき寮（18名参加） ・10月29日 地域を歩こうの会 真如堂～岡崎界限（13名参加） ・1月5日 カレーを作ろう みずき寮（17名参加） ・1月6日 おぜんざいを作ろう 地域住民宅（35名参加） ・1月8日 書初め大会 みずき寮（6名参加） ・1月13日 オランダ紹介イベント 第四錦林小学校（21名参加）

No.	事業名（団体名）	概 要	実 績
10	ホタルプロジェクト （哲学の道保勝会）	哲学の道沿いの蛍や自然環境の調査、住民や観光客への啓発（シンポジウムなど）を実施することにより、住民の暮らしと自然が、共生できるまちづくりを目指す。	・6月19日 ホタル卵調査（4名参加） ・5月23日～6月20日 ホタル飛光数調査（7名参加） ・9月26日 第三錦林小学校出張事業（40名参加） ・11月25日 疏水清掃活動（50名参加） ・2月28日～3月3日 展示会（法然院）（300名参加） ・3月6日 掃除ウォーク（38名参加） ・3月25日 水生生物調査（15名参加）
11	産後ママのリフレッシュ時間普及のための取り組み （まちとNINI）	宿泊施設「NINIRoom」で、隔週木曜日に、乳幼児親子を対象にカフェを開放するとともに、親子向けのアクティビティを実施して、居場所づくりと交流の場を提供する。	・5月～3月 産後ママリフレッシュ開催（35組参加） ・12月～3月 ベビー・キッズ服と絵本の交換会（約50組参加） ・2月16日 子育てマルシェイベント（約50組参加）
12	女性・子供への剣鉾文化の継承 （石座神社剣鉾保存会）	石座例大祭の剣鉾差しで、より多くの担い手の参加を促すために、軽量の鉾を製作し、女性や子どもも練習に参加しやすくし、担い手の養成、技術向上を目指す。	・練習会の実施（18回、明徳小学校・山住神社、参加人数各10～20名） ・他神社（八大、吉田、大豊、栗田各神社）での勉強会への参加（合計45回 参加人数各10～20名） ・剣鉾の組立（10月18日・20日）（50名参加） ・石座神社例大祭（10月21日）
13	『遊びとアート（文化）で左京再発見～左京みんなのミュージアム構想パート2～』 （左京朝カフェ世代間交流グループ）	左京区の歴史や風土を掘り起こし、各地の魅力を、「左京の風土に親しめるカルタ」としてアーカイブ化し、世代や地域を超えて遊びを通じて交流する。	・5月 吉田西部街歩き 吉田各所（20名参加） ・8月26日 高野第2住宅地蔵盆 高野団地（30名参加） ・9月3日 吉田夏まつり 第四錦林小学校（200名参加） ・10月22日 左京かるた取り大会 吉田児童館（10名参加） ・2月17日 修学院児童館事業 修学院児童館（20名参加） ・3月10日 昔遊び博覧会 元新洞小学校（60名参加）
14	スタジオぐるりの立ち上げ－ハザイ・ハイザイで創作の場を作ろう！－ （スタジオぐるり）	端材、廃材を活用し、子ども対象のワークショップを開催。また、作品展示の場を設けることで、子どものみならず、その保護者や大学生など、地域の人々の交流を深めていく。	・7月から12月にかけて左京西部いきいき活動市民活動センターにて計8回実施（計320名参加） ・かもがわデルタフェスティバル内でのワークショップを9月に2回実施（計40名参加） ・田中神社氏子大祭でのワークショップ（田中神社）10月に1回実施（20名参加）
15	京都から使い捨て包装ごみを減らすプロジェクト （くるん京都）	パッケージフリーな買い物が可能な店舗を登録したマップを作成し、ワークショップや小売店向けセミナーを通じて周知・発信することにより、ごみのない美しい自然やまち、活気ある地域づくりに貢献する。	・5月23日 洗瓶工場見学会 吉川商店（18名参加） ・10月21日 おみせのプラスチック調査2022報告会 すみれや（8名参加） ・10月～12月 マイ容器ピクニック商店街等（3回約20名） ・11月20日 古紙勉強会のための取材 株式会社トヨタ（4名参加） ・2月22日 斗々屋×くるん京都オープンミーティング Question（50名参加）
16	木育フェスティバル （公益財団法人京都市森林文化協会） 北部	花脊山村都市交流の森で実施する、親子対象の樹木探検、花脊のチマキザサを使ったチマキづくり、薪づくり体験等を通して、花脊の豊かな自然環境や伝統文化に触れることで、地域の森林を健全に育成する林業への理解につなげる。	日時：①7月8日 ②7月9日 場所：花脊リゾート山村都市交流の森センターエリア及びその周辺森林 参加：①200名 ②150名 内容：木製おもちゃを使った遊びの提供、木製クワの制作、樹木探検、薪割り体験、魚つかみ、チマキザサを使ったチマキづくり等
17	ももいなつまつり（はすまつり） （百井町自治会） 北部	元大原小学校百井分校で実施するももいなつまつりにて、ハス畑鑑賞、薪割体験、野菜特産品販売、ライブ等を開催することにより、自然豊かな百井地域の良さをPRするとともに、特産物として目指している「菊芋」を原料とした商品の販売を行い、新たな雇用創出を目指す。	日時：7月30日 場所：旧大原小学校百井分校、はす畑、野菜畑等（350名参加） ※ 当地生産物である菊芋を使用したクッキーとドーナツを販売。
18	花脊里山での学びあいプログラム （共創ラボColab-Kyoto） 北部	長い伝統と里山の風土を保ち続ける花脊地域において、地域住民・移住者・関係者が交流し、学びあう場、地域の子どもの学びの場を設けることを通じて、協働教育の促進、移住者や関係人口の増加を目指す。	・8月12日 暮らしの花背 花背別所（19名参加） ・9月17日 森羅杯 別所自治会館（18名参加） ・10月14日 暮らしの花背 花背別所（33名参加） ・11月18日 花背森林妄想会議① 古原林業等（14名参加） ・11月19日 花背森林妄想会議② 藤井作業場（14名参加）
19	災害時・平常時における木造ユニットシステムの活用 （京都工芸繊維大学）	京都府産の間伐材を利用して、平常は簡易茶室として利用するユニットを作成し、近辺の小学校で、茶道体験授業を行うとともに、災害時にも利用できることを紹介する。11月開催の大学祭等で、本ユニットの体験イベントを開催し、区民の方などの防災意識の向上を図る。	・日時：11月25日 ・場所：京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 8号館1階 ※ 組立式茶室での茶道体験を行い、本ユニットの仕組みと災害時の活用事例の紹介を行った。（52名参加）

No.	事業名（団体名）	概 要	実 績
20	村・留学 久多 2023 (PaKT company) 北部	自然豊かな久多地域の魅力を地域外の方に体験してもらうため、大学生を対象に、「村・留学」と題して、夏と冬の休暇期間に短期滞在事業を行うことを通して、久多地域への移住者や関係人口の増加を目指す。	・7月31日 事前研修 ・8月21日～8月27日 村・留学 7名参加（内容 食育プログラム等） ・8月25日 感謝祭（地元交流会） 15名参加 ・1月27日 事前研修 ・2月8日～2月16日 村・留学 3名参加（内容 蕨細工作り等） ・2月15日 感謝祭（地元交流会） 11名参加 ※ 久多に関する冊子「村る」の制作・配架。TiktokやInstagramで、久多の日常を発信。
21	（ふるさと森都市フェスティバル） 広河原里山フェスティバル （広河原自治振興会） 北部	区の最北端に位置する広河原地区の自然と文化に触れる体験を通して、広河原を知り、愛着を持ってもらうため、「Hirogawara Trout Town」等で実施する川遊び、ヨガ教室、ジビエ料理の食体験などを通して広河原ファンや移住者を増やし、地域の活性化に繋げる。	8月13日（500名参加） ①アサ祭りゾーン（川遊び・釣り体験・釣り教室・鮎のつかみ取り大会） ②広河原文化ゾーン（松上げコーナー・鮎の塩焼き） ③里山食文化祭ゾーン
22	虹プロジェクト （株式会社あいりす）	デイサービスセンター虹において、住民対象の地域食堂や、健康・介護などの講座「虹セミナー」等を開催し、住民の交流・意見交換や情報共有できる場を提供する。	・7月11日 にじ祭り（約60名参加） ・8月27日 レザークラフト体験 展示会（9名参加） ・9月12日 にじの食堂（20名参加） ・10月20日 歩活講座（10名参加） ・11月14日 にじの食堂（20名参加） ・12月3日 エコカフェ（11名参加） ・1月16日 にじの食堂（15名参加） ・2月20日 にじの食堂（32名参加） ・3月19日 にじの食堂（42名参加）
23	京都大原文化センター広報誌 （京都大原文化センター） 北部	令和5年3月に閉鎖となったJA京都中央大原支店跡を拠点として、オオムラサキ保護活動、農業体験、古文書研究を行い、地域内外に向けて発信する広報誌を発行する。	・8月17日 広報誌1号発行 ・10月6日 広報誌2号発行 ・11月9日 広報誌3・4合併号発行
24	えほんの世界においてやす☆ （NPO法人「絵本で子育て」センターおいでやす京都支部）	目には見えない乳幼児期の心の育ちのために、絵本の読み聞かせを通じて親子でコミュニケーションをとることの大切さや「絵本で子育て」の楽しさを親子とともに実感してもらうこと、それを実践してもらうことを目的として、絵本講座や子育てイベントを行う。	8月から3月にかけて計4回絵本講座を左京西部いきいき市民活動センターにて実施（計27名参加）
25	八大神社の剣鉾を地域の方々に伝える。（小学生中心） （八大神社剣鉾保存会）	八大神社の剣鉾について、修学院小学校にて、子ども向けの維持・組立の練習・勉強会を行うことを通じて、地域の伝統文化の次代の担い手を育てていく。	7月から3月にかけて修学院児童館にて計8回実施（計82名参加）
26	「生きる力を育もう!」連続ワークショップ （森の学校あのね）	親子を対象に、川遊びや調理体験等を開催し、子育て・教育を体験する場を提供する。	・10月18日 「反射の統合のお話とおうちでできる発達遊び」 レンタルスペースくさのねひろば（8名参加） ・11月20日 「絵本の読みをみんなでじっくり深める会&つくってたべよう会」 レンタルスペースくさのねひろば・辻公園（6名参加） ・12月1日 「だいちのアトリエ」 宝ヶ池公園子どもの楽園（8名参加） ・1月23日 「自由な絵具遊び」&「つくって食べよう」&「公園で遊ぼう」 レンタルスペースくさのねひろば・辻公園（12名参加） ・2月22日 「つくってたべよう」&「公園で遊ぼう」 レンタルスペースくさのねひろば・辻公園（6名参加） ・3月14日 「糸紡ぎをやってみよう」 京都市国際交流会館（10名参加） ・3月29日 「学びの森」 レンタルスペースくさのねひろば・辻公園（7名参加）
27	自然の中、フラダンスで健康作り （Lani会）	宝ヶ池公園・高齢者施設・児童館などで健康フラダンス体操、フラダンスレッスンや慰問活動を実施する。フラダンスを通して、高齢者・子育てママ・児童等の健康促進を図るとともに、交流の場を提供する。	・8月19日 高齢者施設慰問活動「フラダンス」大原雅の里デイサービス（約50人参加） ・11月11日 地域交流イベント「Akoha Lemon」宝ヶ池 憩いの森（約400人参加） ・12月25日 高齢者施設慰問活動「クリスマスショー」大原ホーム（約45人参加）